

第4回 小諸市立小中学校統合準備委員会 会議録

開催日時 令和8年2月25日(水) 19:00 ~ 20:35

開催場所 小諸市役所 第1・2会議室

出席委員 清瀧 恵理 松尾 良太 清水 佳織 櫻井 浩多
井澤 昭 金井 直樹 宮坂 哲子 相原 修
小林 孝治 依田 勝彦 小林隆一郎 佐藤 正人
清水 誠 栗林 正直 福島 全子 依田 隆司
倉島 綾子 掛川 敏彦 以上18名
(欠席 : 柳沢 好久 大森 豊也 以上2名)

事務局 教 育 長 山下千鶴子
教 育 次 長 安藤 貴正
学校教育課長 吉澤 一男
主幹指導主事 高柳 司
課長補佐・学校教育係長 高橋 修一
教育総務係長 笹川 望
再編整備係長 前田 裕美
再編整備係 事務主任 堀込 翔平

1 開 会

〈進行：再編整備係長〉

➤ 開会に先立ち、事務局より以下2点を周知

- ① 小諸市立小中学校統合準備委員会設置要綱第6条の規定に基づき、会議の開催にあたっては委員の過半数の出席を必要としているが、委員20名中18名の出席が確認できたことから、本日の委員会は成立とする。
- ② 本委員会は原則公開のため、一般市民等の傍聴を認めていることを了承願いたい。

2 教育長あいさつ

- ・昨年5月27日に第1回統合準備委員会を立ち上げ、本日まで、新校のソフト面に関し、委員の皆さんから未来に向けての貴重なご意見・ご提案を頂戴し、様々な取組みを進めていただいた。本日はまとめの会議であり、また次へ繋がる会でもあると思う。引き続きご協力をお願いしたい。

3 議 事

(1) 報告事項

- ① 通学部会（進捗状況の報告、今後のスケジュール）

➤ 部会長より進捗状況を報告

- ・第5回…通学路の決定プロセスと現状の各校の通学路について確認を実施
決定プロセス→芦原中の既存の通学路をベースに「通学部会案」を作成。その後、統合準備委員会・教育委員会の承認を得て「仮通学路」を設定し、新校校長により正式な通学路として決定する予定。
- ・第6回…バス運行会社との協議について（現時点では、6路線6台での運行が必要と見込まれる。バス停や転回スペースの設定により路線数に変動するため、具体的な検討が進み次第、改めて報告の予定。）
- ・通学路の整備にあたっては、市の予算要求の都合上、夏頃までに方針を固める必要がある。時期を見極めつつ、統合準備委員会に付議できるよう検討を進めていく。

➤ 質疑

Q：バス運行に関し6路線との話があったが、何km以上を対象と決めたのか。

A：路線の設定にあたってはおよそ3kmを目安にバス運行会社に依頼を行ったが、現時点では明確な基準は未定。先進地における設定方法も参考に今後検討を進めたい。

- ② 教育部会（各ワーキンググループの進捗状況、及び教育視察報告）

➤ 部会長より進捗状況を報告

- ・対話協働の学び委員会において、群馬県太田市「北の杜学園」への視察を実施。教育課程が学年ごとに2・2・3・2のIVステージ制となっていることが大きな特色。

- ・各委員会ではボトムアップを大切にして検討を進めてきたが、小中の授業時間の統一や小学校5年生からの教科担任制の導入など、新校の骨格を作っていく重要課題については大枠の方針が必要との声が上がっている。そこで、小中一貫教育ビジョンの3視点に関わるワーキンググループの各委員長など、コアメンバーを中心にたたき台を作成し、それを各委員会に下ろしてさらに議論を煮詰め、新校の骨格を形作る、という方針で取り組んでいきたいと考えている。

(2) 協議事項

① P T A・地域部会（保護者組織のあり方に関するアンケート調査について）

➤ 部長よりアンケート調査結果について報告・提案

- ・保護者組織について、P T A・地域部会より提言を行い、アンケート調査を実施した。

【提言】

- ① 芦原新校の保護者組織は現在の芦原中学校P T A組織を土台とし、1年生～6年生の保護者組織については、現3小学校のP T A組織の様子や実情等をふまえて、現芦原中学校P T A組織に統合する形で再編成する。
- ② 具体的な活動内容や組織については、保護者ができるだけ無理なく参加できるよう、新校開校後も、その都度見直しを行っていく。

- ・調査結果は、賛成が78%（約8割）、反対が22%（約2割）となった。この結果を踏まえて作成したものが「アンケート結果報告書（案）」である。本日の委員会で委員より意見をいただき、今年度中には保護者の皆さんに報告書をお示ししたい。
- ・部会として大切に考えたことは、約8割の保護者が賛成という結果である。これらの皆さんの思いを提言内容の推進、新たな組織づくりへの後押しと考え、実行に移していきたい。
- ・一方で、約2割の慎重論・反対意見への配慮も必要と考えている。そこで、報告書には課題に対する具体的対応方針案を4つ記載した。保護者の皆さんのご協力を得て、多数参加いただくという方針で新校のP T A組織を形作っていきたいというのが部会の願いである。但し、任意組織でもあるため、加入の有無に関する意思確認は大切にすべきと考えている。
- ・提言内容を、役員の選出や組織のあり方などに具体的にどのように反映させていくかが今後の課題となる。

➤ 委員意見

- ・保護者として、子どものために協力したいという思いは強いものの、仕事などで時間の捻出が困難であり、負担が大きいという実情もある。よって、提言にある「強制」から「自発」への転換など、無理なく参加できるようにという方針は大変よいと思う。

【協議結果】

- ・提案のとおり対応を進めることについて、満場一致で承認された。

② 総務部会（校名案の応募状況に係る報告、及び校名案候補の提案について）

➤ **総務部会 事務局担当より、応募状況について報告**

- ・ 2月20日現在で、一般枠で134件、児童枠で496件の応募があった。全体としては、「芦原小中学校」を支持する応募者が約6割を占めている状況である。

➤ **部会長より、校名案候補について提案**

- ・ 総務部会における検討の経過で大切にしてきたものは、「芦原」という名前に込められた思いである。今回の応募結果では、その思いと多くの応募者の考えの重なりを感じられたことから、校名案候補①として「芦原小中学校」を挙げた。ただし、応募結果や総務部会の思いだけで結論を出すのではなく、本日の委員会で委員の皆さんのご意見を伺い、方向性を確認したいと考えている。
- ・ 小中学校という表記についてであるが、なじみやすい・分かりやすい・言葉の意味が直感的に伝わる、ということが大切であると考え、応募用紙でもこの表記を用いた。また、小諸東中学校区とのバランスを考慮した際に、義務教育学校の表記はデメリットが大きいと判断した。しかしながら、義務教育学校や学園という表記に関しては様々な意見があることから、メリット・デメリットの記載も踏まえ検討いただきたい。
- ・ 資料では、3つの校名案候補と、その他として校名案の理由や願い等を大切に考えられた案も補足として加えている。これらも参考にしながら、率直な意見を出し合ってもらいたい。一つに決める場ではないが、委員同士の対話を通して、方向性が少しずつ見えてくることを期待している。 《以降、3班に分かれてグループ討議を実施》

➤ **グループ討議結果**

- ・ 1班…校名案候補①の「芦原小中学校」を推す意見が多数。ただし、その他の候補のうち「芦原四つ葉学園」も、その由来から大変よい案とする意見もあった。また、小中学校だと小中が分かれているイメージだが、学園という表記からは、一つのまとまりとしてのイメージが持てるという意見も示された。
- ・ 2班…校名案候補③の「梅花学園／梅花小中学校」は候補から外してもよいとする意見があった。また、「芦原」の表記をひらがなにしてはどうかという意見のほか、そもそも「芦原小中学校」という表記は新校の体制として妥当なのかとする意見も出された。
- ・ 3班…校名案候補①「芦原小中学校」を推す意見が多数で、中でも「芦原」という名称の使用は全員の意見が一致した。このほか、「芦原学園」を候補としたい旨の意見もあった。校名の決定はデリケートな問題であり、統合予定の4校に在学する児童生徒や卒業生、市民の皆さんの多くの賛同をいただかないと、最終的に多数決になったとしても共感を得られないと思うので、その点もしっかり考慮していただければと思う。

➤ **参考：校長意見**

- ・ 坂の上小校長…「芦原学園」がよいと思う。理由は総務部会の提案資料に記載のとおりだが、新しい学校を作るという気概を持ちたいということと、小中学校という表記だと、従来の学校というイメージが先行する印象を受けるためである。
- ・ 水明小校長…「芦原学園」がよいと思う。小学校でも中学校でも、小中学校でもない形態の学校というイメージがあるため、義務教育学校という表記が堅く親しみの湧かないものであるとすれば、「学園」という表記がよい

のではないかと考えている。

- ・ 芦原中校長…「芦原小中学校」がよいと思う。校名は子どものためにあるもので、子どもが一番なじみやすく、分かりやすいのは「小中学校」であると思う。また、校名は後世に残っていくものであることから、その根幹に関わるような部分については、できるだけシンプルかつスリムで、平易なものがよいと考える。

【協議結果及び今後の対応について】

- ① 校名案の最終選定にあたり、「芦原」という表記は残すこととする。
- ② 「小中学校」「学園」という表記に関しては、優劣をつけがたいため、教育委員会事務局でのさらなる検討を求めたい。

以上を統合準備委員会における最終結論とし、教育委員会事務局への結果報告とする。
なお、教育委員会事務局はこの報告を踏まえ、事務局内協議・教育委員会内で協議を行い、最終案を決定することとする。

(3) その他

- ・ 協議・連絡事項等はなし

4 その他

- (1) 第5回小諸市立小中学校統合準備委員会の開催について

日 時：5/27（水） 19：00～20：30

場 所：市役所3階 第1・2会議室

- (2) 役員の改選・人事異動等に伴う後任者の報告について

- ・ 後任者が決定次第、再編整備係へ速やかに報告するよう周知

5 閉 会

以上